

令和2年度デマンド交通運行実績

(1) デマンド交通「おでかけ号」の概要

おでかけ号は、下野市の公共交通空白地域を解消するために、平成23年11月から運行を行っている乗り合いタクシーです。

予約に応じて利用者の希望する場所までお迎えに行き、各利用者の目的地まで運行する「ドア・トゥ・ドア型」の運行を行っています。

【運行概要】

運行区域	下野市全域（石橋・国分寺・南河内の3エリア）
運行日	月曜から土曜日 ※祝日及び振り替え休日、年末年始を除く 午前8：00～午後6：00
運行本数	各エリア 10便/1日
運賃	大人300円・小学生200円・未就学児無料
運行車両	10人乗りワゴン車をエリアごとに1台配置（計3台で運行）
利用方法	① 利用登録 利用登録書を市安全安心課にFAXまたは窓口で提出。 メールや電話での登録申請も可能。 ② 利用予約 予約受付センターに、利用の1時間前までに電話予約。 （午前8時の便は前日までに予約）

下野市では、以下の事業において、外出支援としておでかけ号乗車券もしくは回数券等を対象となる申請者に交付しています。

- 運転免許証自主返納者支援事業
- 高齢者外出支援事業
- 子育て世帯外出支援事業

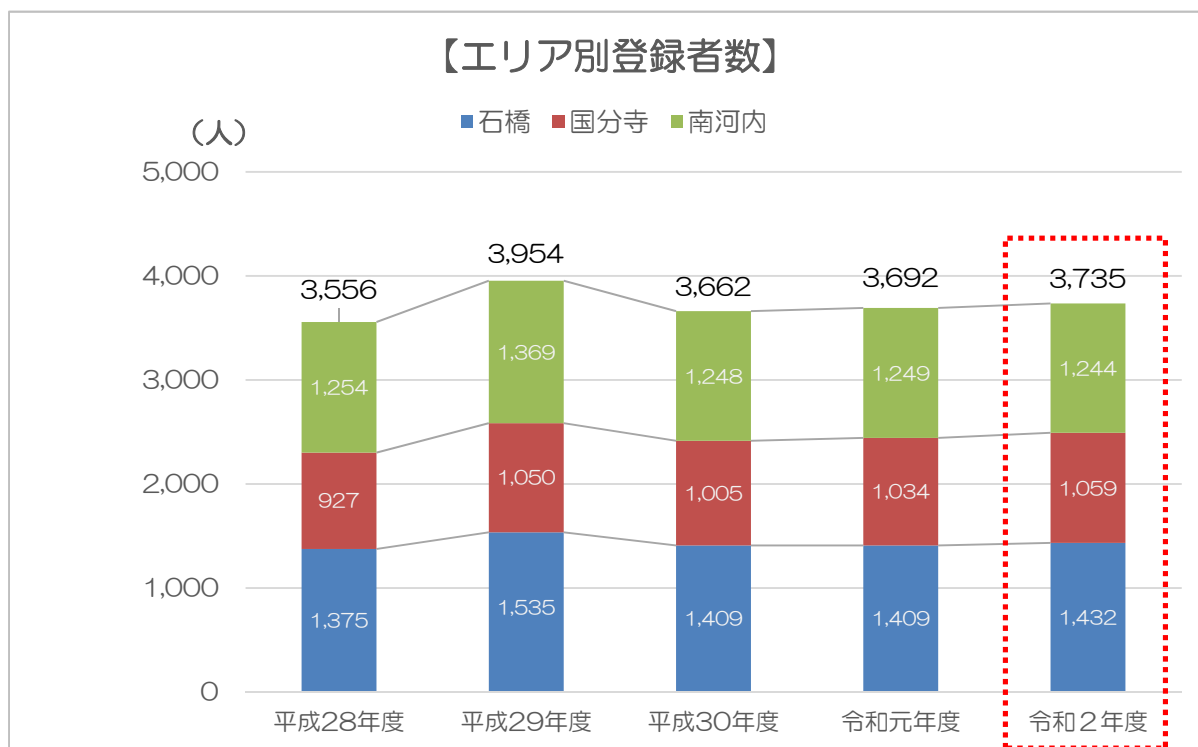
【運行エリア】



(2) 令和2年度 デマンド交通利用状況等

① 利用状況

1) 登録者の推移



	H28	H29	H30	R1	R2
石橋	1,375	1,535	1,409	1,409	1,432
国分寺	927	1,050	1,005	1,034	1,059
南河内	1,254	1,369	1,248	1,249	1,244
合計	3,556	3,954	3,662	3,692	3,735

単位：人

登録者は、令和3年3月31日現在、3,735人です。令和元年度より43人増加しました。

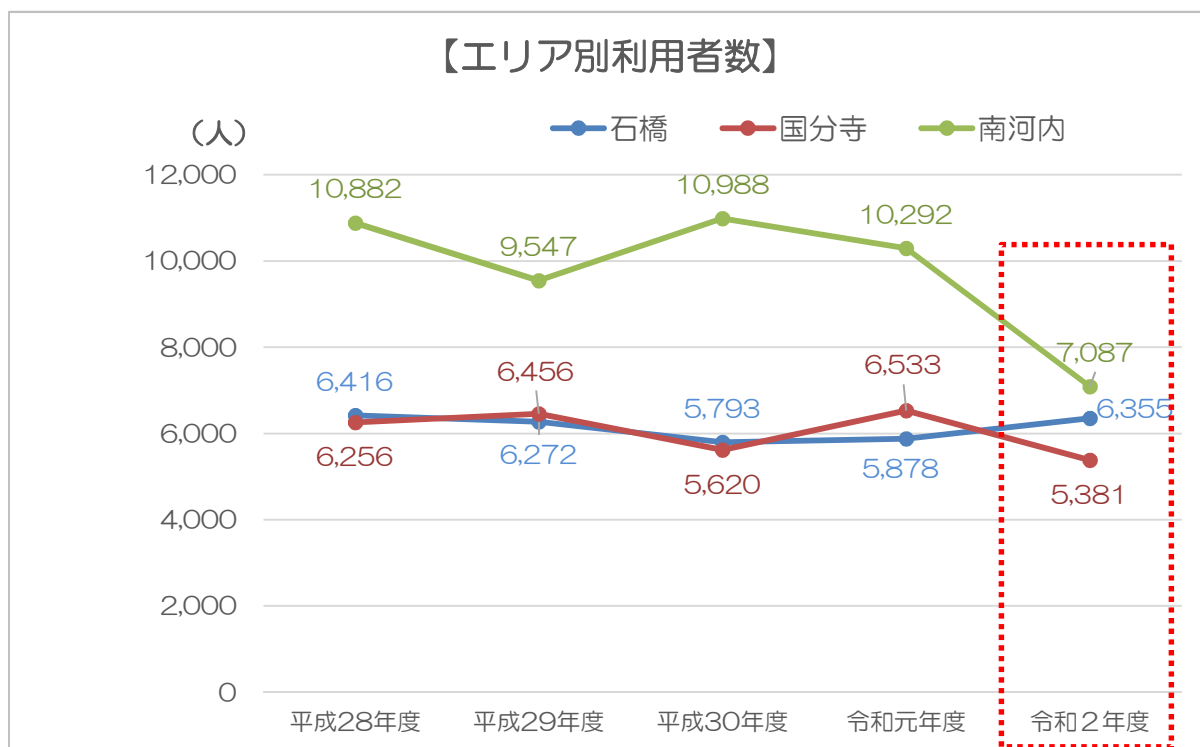
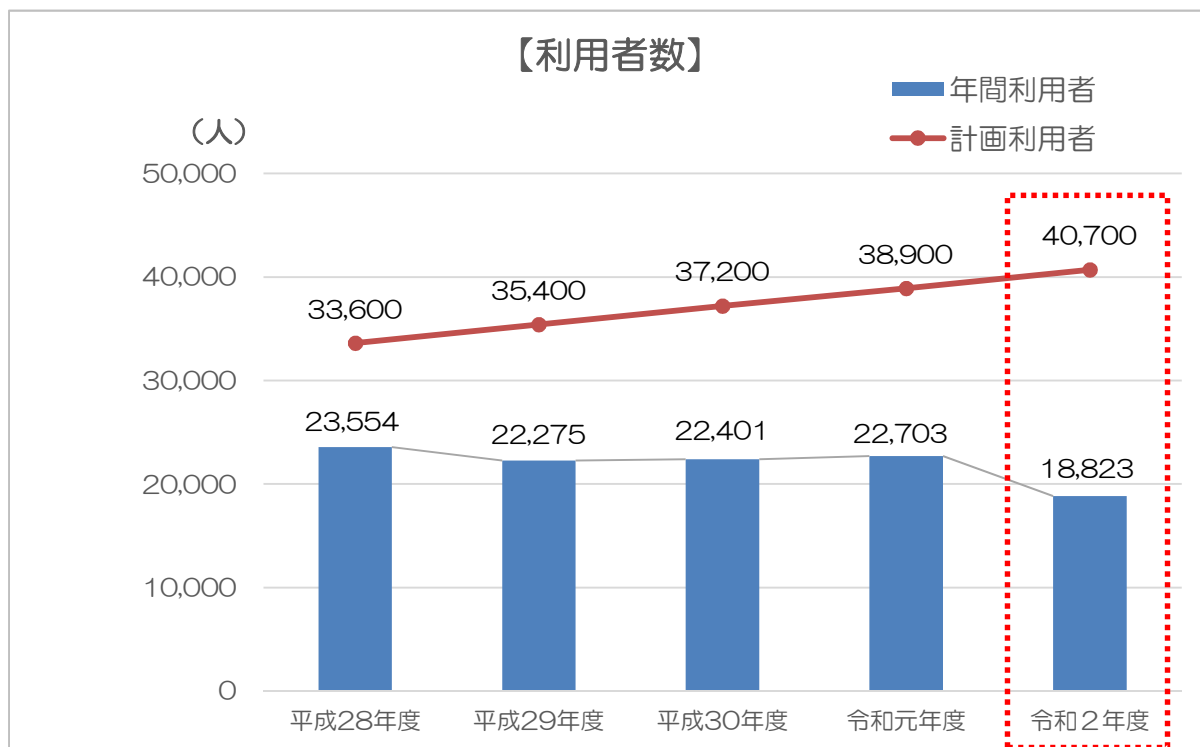
【新規登録者数】

	H28	H29	H30	R1	R2
新規登録者数	379	398	526	367	163

単位：人

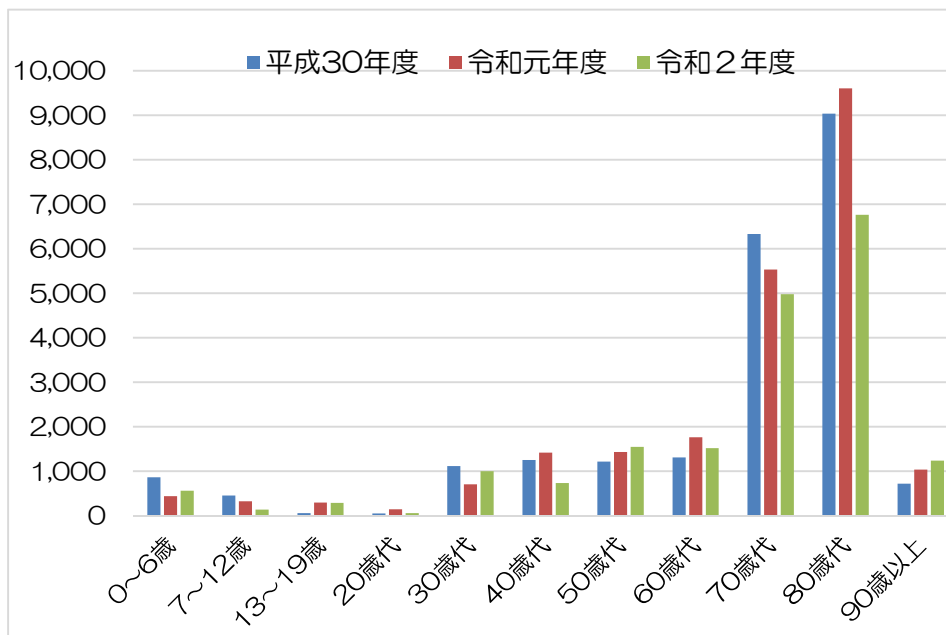
新規登録者数は、令和2年度は163人です。

2) 利用者の推移



全体の利用者数は、令和元年度に比べてコロナ禍により大幅に減少しています。エリア別に見ると、南河内地区が著しく減少していますが、石橋地区ではわずかに増加しています。

【年齢別利用状況】

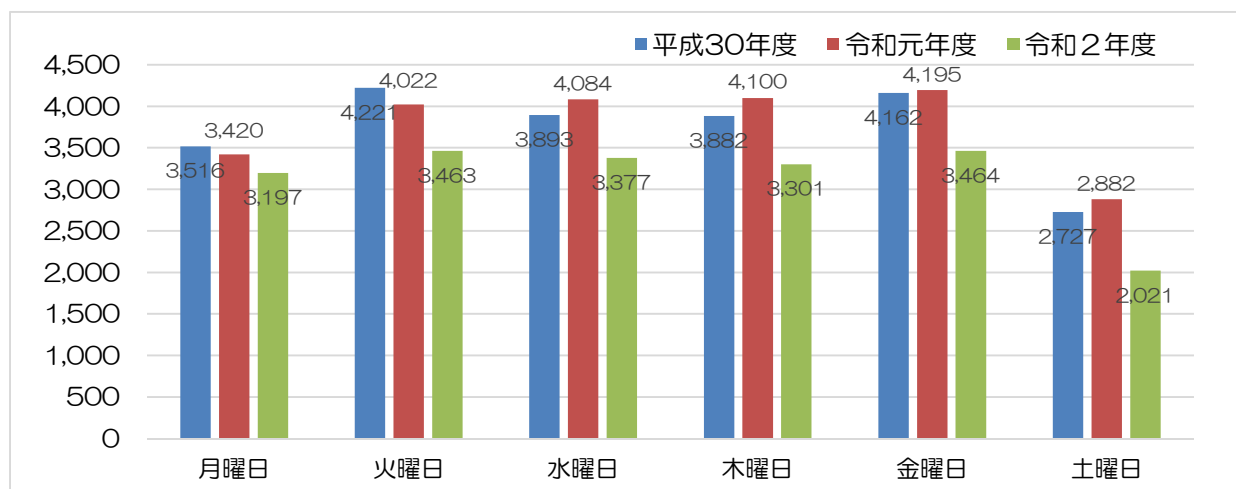


年齢	利用者数
0～6歳	560
7～12歳	136
13～19歳	290
20歳代	61
30歳代	1,000
40歳代	736
50歳代	1,545
60歳代	1,518
70歳代	4,981
80歳代	6,761
90歳以上	1,235
計	18,823

単位：人

年齢別利用者は60歳以上が17,935人で全体の77.0%を占めています。中でも最も利用が多いのは80歳代の6,761人ですが、令和元年度と比較すると大幅に減少しています。

【曜日別利用者数】



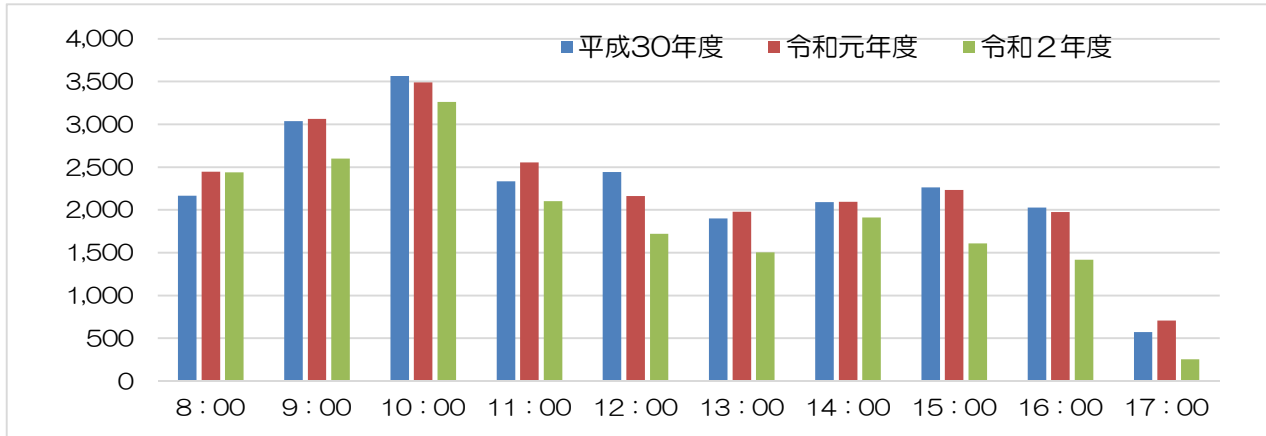
【曜日別の1日平均利用者数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
月曜日	81	81	68
火曜日	82	84	72
水曜日	76	81	67
木曜日	79	82	67
金曜日	83	87	69
土曜日	55	60	40

単位：人/日

令和2年度は例年と同様に、土曜日が月曜～金曜日に比べて少なくなっています。

【時間帯別利用状況】

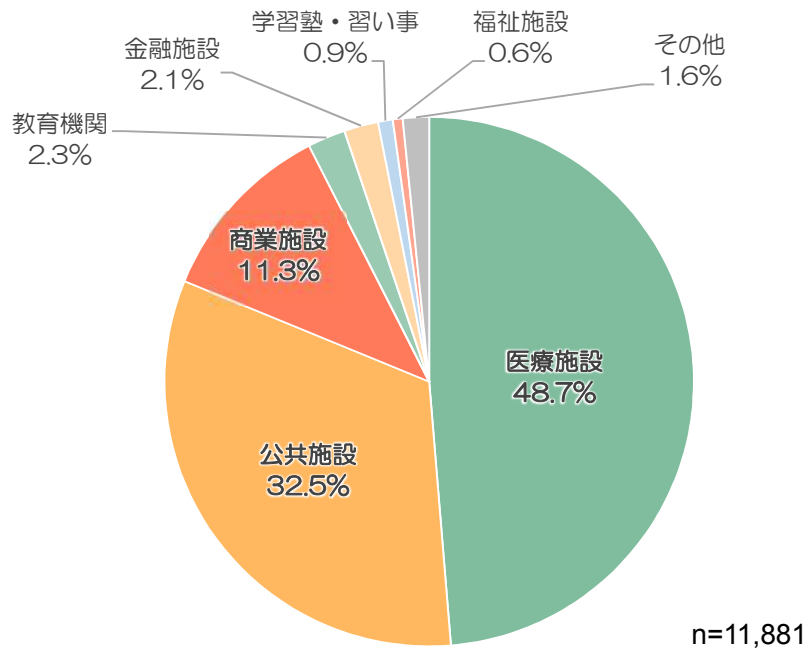


	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
平成30年度	2,166	3,037	3,566	2,335	2,443	1,901	2,089	2,263	2,029	572
令和元年度	2,445	3,062	3,490	2,555	2,161	1,980	2,096	2,232	1,974	708
令和2年度	2,440	2,600	3,263	2,103	1,720	1,504	1,913	1,607	1,419	254

単位：人

令和2年度は例年と同様に午前中は午後と比べると利用者数が多く、特に9時、10時が多くなっています。午後は14時が若干多いものの、17時以外は時間帯ごとの利用者数に大きな違いはありません。

【令和2年度降車場所（自宅を除く）】



降車箇所上位 10 項目		エリア	利用人数(人)
下野市新庁舎☆	公共施設	国分寺	1,990
自治医大附属病院☆	医療施設	南河内	1,196
石橋総合病院	医療施設	石橋	944
自治医大駅東口	公共施設	国分寺	647
小金井中央病院	医療施設	国分寺	593
海老原医院	医療施設	国分寺	467
きらら館	公共施設	石橋	354
かましん自治医大店	商業施設	南河内	344
ゆうゆう館☆	公共施設	国分寺	324
グリーントウンコミュニティセンター	公共施設	南河内	244

☆は、3地区共通乗入施設

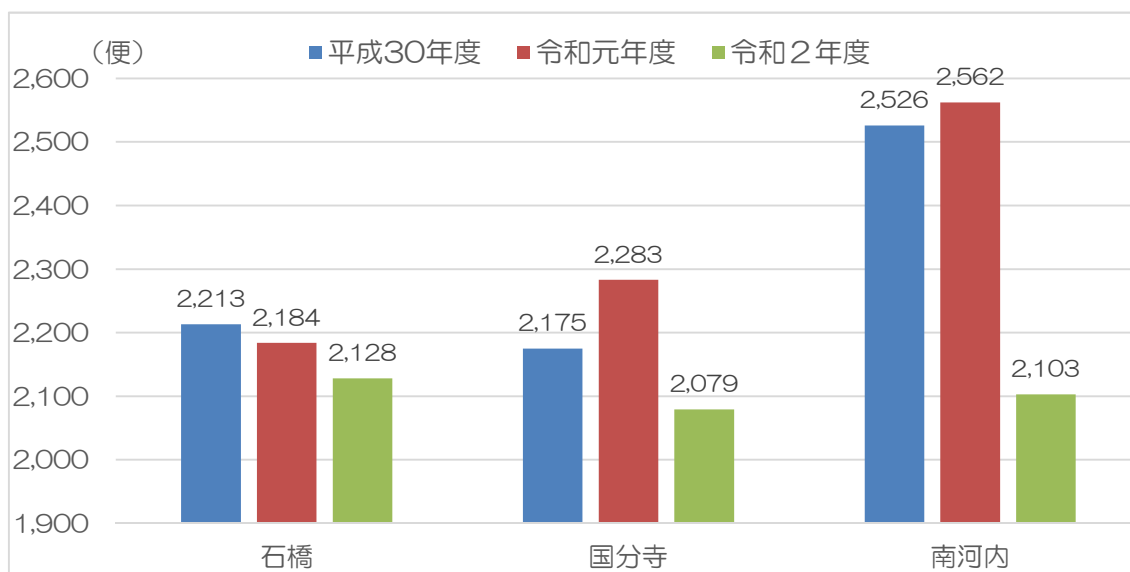
降車箇所は医療施設が約半数となっており、次いで約3割が公共施設、約1割が商業施設への移動に利用しています。

医療施設については、「自治医大附属病院」、「石橋総合病院」、「小金井中央病院」と、下野市の基幹的な医療施設が全体の上位を占めていますが、その他にも、クリニック、歯科、調剤薬局等の利用も多数にのぼっています。

公共施設では、3地区共通乗入施設および乗継施設である「下野市新庁舎」は最多の1,990人が利用しています。また、「きらら館」や「ゆうゆう館」も上位となっています。

② 運行状況

【エリア別運行便数】



【月別運行便数（令和2年度）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
便数	464	446	554	564	500	526	617	517	566	495	489	572

単位：便

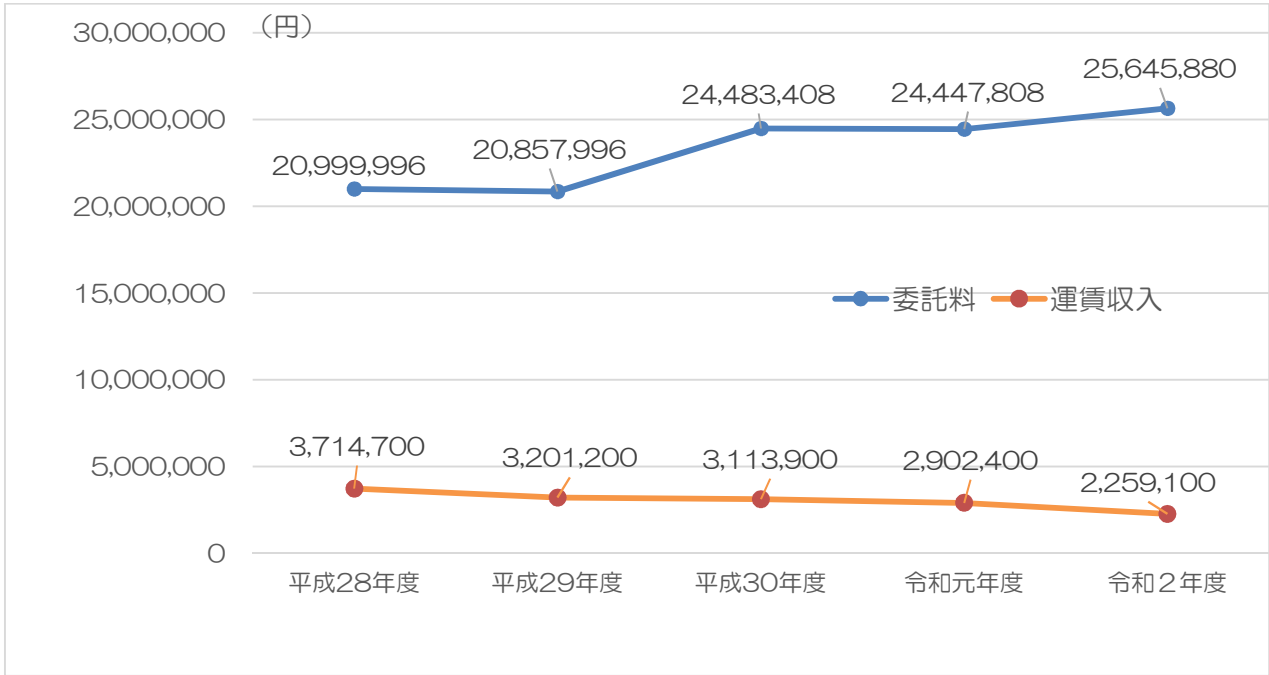
【1 便当たりの乗車人数】

平成30年度（実績）	石橋	国分寺	南河内	平均
2,930 時間を基準に算出	2.0 人	1.9 人	3.8 人	2.6 人
実運行時間で算出	2.6 人	2.6 人	4.3 人	3.2 人

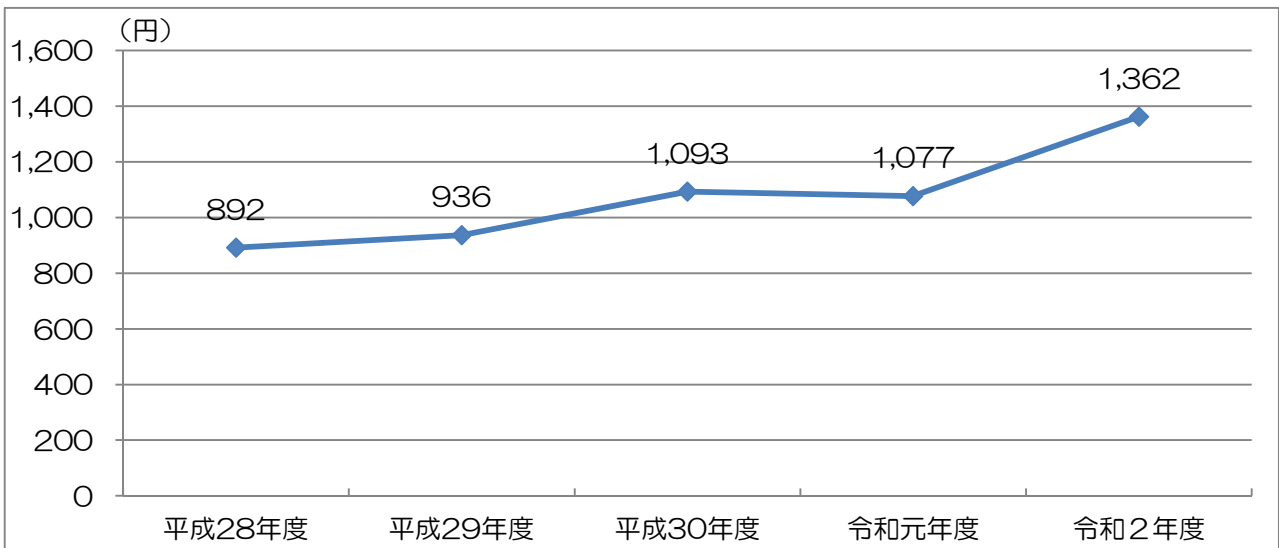
令和元年度（実績）	石橋	国分寺	南河内	平均
2,900 時間を基準に算出	2.0 人	2.3 人	3.5 人	2.6 人
実運行時間で算出	2.7 人	2.9 人	4.0 人	3.2 人

令和2年度（実績）	石橋	国分寺	南河内	平均
2,940 時間を基準に算出	2.2 人	1.8 人	2.4 人	2.1 人
実運行時間で算出	3.0 人	2.6 人	3.4 人	3.0 人

【委託費・運賃の推移】



【運行経費（一人当たり）】



$$\text{運行経費（一人当たり）} = \frac{\text{委託料（P8参照）}}{\text{利用者数（P3参照）}}$$

平成28年度から利用者数の減少により、一人当たりの運行経費が増加傾向にありましたが、令和2年度はコロナ禍により利用者数が大幅に減少したため増加傾向が大きくなっています。